

報道関係者各位

2025 年 10 月 6 日

●取材のご案内●

＜科学教育セミナー＞

～教育の現場から見たジェンダーレスの社会と「未来像」～
『なぜ Rikejo が増えないのか？』

コーディネーター：

・塩見春彦氏（千葉大学次世代 in vivo 研究探索センター 特任教授）

パネリスト：順不同

・巳波弘佳氏（関西学院大学副学長・情報化推進機構 機構長）

・細越裕子氏（大阪公立大学大学院 理学系研究科物理科学専攻 教授）

・川越至桜氏（東京大学生産技術研究所 次世代育成オフィス 准教授）

2025 年 10 月 21 日（火）15 時～16 時 30 分（受付：14 時 30 分）

場所：東京ミッドタウン八重洲カンファレンス 5F スタジオ

BME（Bio Medical Engineering）分野の発展を通じて、日本のイノベーションを促進させるため、表彰事業及び新しい研究や技術開発を支援する助成事業など幅広い活動を行っている公益財団法人 中谷財団（東京都品川区/理事長：矢富 裕、以下「中谷財団」）は、科学の裾野拡大を目的とした、「科学教育振興助成」（詳細はこちらをご参照：https://www.nakatani-foundation.jp/business/grant_science_edu/）を、小学校、中学校、高等学校を対象として実施しています。

男女雇用機会均等法が施行されて 40 年がたった今、日本における理系女子の割合はまだ少なく、特に研究者に至っては、OECD 加盟 33 か国中で最下位となっています。そこで今回は、「**なぜ Rikejo が増えないのか？**」をテーマとした、**プレス向けセミナーを 2025 年 10 月 21 日（火）15 時から開催**いたします。

今回は、それぞれの立場で「Rikejo」を増やすことに取り組んでいる先生方に集まっていただき、**教育の立場からの取り組みやジェンダーレスの社会と「未来像」**についてもお話しいただく予定です。なお、本セミナーには、科学教育振興助成対象校の**科学教育に意欲的に取り組む先生方も聴講いただきますので、ご質問をふくめた意見交換も行う予定**となっております。ご多忙とは存じますが、是非、ご取材をご検討いただければ幸いです。

■ セミナー概要 ■

日時：2025 年 10 月 21 日（火）15：00-16：30（受付/14：30）

場所：東京ミッドタウン八重洲カンファレンス 5F スタジオ（東京都中央区八重洲二丁目 2 番 1 号）

<https://www.yaesu.tokyo-midtown.com/access>

＜当日の流れ＞

・中谷財団および科学教育振興助成の説明

・パネルディスカッション：「なぜ Rikejo が増えないのか？」

コーディネーター：塩見春彦氏（千葉大学次世代 in Vivo 研究探索センター 特任教授）

パネリスト：順不同

巳波弘佳氏（関西学院大学副学長・情報化推進機構 機構長）

細越裕子氏（大阪公立大学大学院 理学系研究科物理科学専攻 教授）

川越至桜氏（東京大学生産技術研究所 次世代育成オフィス 准教授）

・質疑応答

＜一般・読者からの問い合わせ先＞

公益財団法人 中谷財団 事務局
<https://www.nakatani-foundation.jp>

＜報道関係者からの問い合わせ先＞

共同ビーアール株式会社 PR アカウント第 3 本部 5 局 高橋・森田
Tel.03-6260-4861
mail: nakatani-pr@kyodo-pr.co.jp

＜ご取材 お申込み方法＞

ご取材いただける場合は、下記のメールアドレスに必要事項をお送りいただければ幸いです。

nakatani-pr@kyodo-pr.co.jp

共同ピーアール㈱ 森田、高橋宛

①貴社名：

②媒体名：

③部署名：

④御氏名： (他 名)

⑤メールアドレス：

⑥TEL：

⑦ご要望等： 個別取材など

■『科学教育振興助成』に関して

中谷財団は、将来を担う子どもたちの論理的思考力を養い、創造性を育み成長させることが、科学技術の発展はもとより我が国の発展に寄与するものと考え、小学校、中学校、高等学校における科学教育振興を目的とした取り組みに対して助成する事業を2014（平成26）年度より実施しています。さらに、子どもたちの理科の力を向上させるための指導法改善や教材の開発などに取り組む意欲的な小中学校の教員を支援する取り組みも行っています。この助成が科学教育発展にご尽力いただいている皆様の一助になればと考えています。

「科学教育振興助成」の2026年（令和8）年度助成の募集に関しては下記をご参照ください。

https://www.nakatani-foundation.jp/business/grant_science_edu/

■公益財団法人 中谷財団 概要■

中谷財団は、神戸に本拠を置く臨床検査機器・試薬メーカーであるシスメックス株式会社の創業者 故中谷太郎により1984年「中谷電子計測技術振興財団」として設立されました。その意思を継いだ子息の故中谷正の遺贈を受け、2012年に大きな事業が行える財団へと生まれ変わり、同年には公益財団法人に移行し、「公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団」となりました。それ以来、医工計測技術分野の広範な発展を願い、先導的な技術開発への助成を中核として技術開発に顕著な業績をあげた研究者への表彰や技術開発に関する交流への助成等の事業を行ってきました。2014年以降は、若手人材育成のため、大学院生向け奨学金や大学生の短期留学サポート、さらにすそ野拡大のため、小中高校生を対象とした科学教育振興助成など、幅広い層への支援を実現しています。このように研究者から小中高校生まで、トータルに事業展開をする国内有数のユニークな財団となっています。2024年に設立40周年を迎え、助成分野をBME分野に広げるとともに、新たな表彰事業「神戸賞」を創設しました。また、同年11月1日に名称を「公益財団法人 中谷財団」と改称し、新たな一歩を踏みだしました。

名称：公益財団法人 中谷財団

英表記：Nakatani Foundation

設立：1984年（昭和59年）4月

理事長：矢富 裕

所在地：〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2
アートヴィレッジ大崎セントラルタワー8F

目的：「BME（Bio Medical Engineering）分野～生命科学と理工学の融合境界領域～」における研究・開発、交流等を促進し、また人材を育成することによって、BME分野の広汎な発展を推進し、我が国ならびに国際社会の発展及び生活の向上に寄与すること。

URL：<https://www.nakatani-foundation.jp/>

